

重要取組シート

産業振興局 農政部 農水産課

取組項目	地産地消等の農業の推進
現状・課題	【現状】 ○堺市農業祭 ・令和 6 年度は約 49,000 人が来場し、11 時 30 分頃には野菜は完売となった。 ・「百舌鳥・古市古墳群」世界遺産登録 5 周年記念パネル展と連携、大阪・関西万博の市内出展企業による PR、最新の農業機械の展示のほか、堺伝匠館による伝統産業品の展示販売、出張輪島朝市等のブースを設置した。 ○堺のめぐみ ・農業振興ビジョンに基づき、販売イベントやキャンペーンのほか SNS による広報活動等、地域情報を発信する事業者とも連携し、堺産農産物の地域内利用の促進に重点的に取り組んできた。 ・堺市基本計画の KPI（下欄参照）55%を令和 5 年度 61.7%で達成している。 ○オーガニックビレッジ ・市内の牛ふん堆肥を用いた減農薬減化学肥料栽培による水稻の実証実験について、生産者数、実証圃場面積を増やし実施した。 ・収穫された米を「堺のひかり」と名付けて、量販店やイベントでの PR 販売を行った。 【課題】 ○農業祭 ・農業振興に向けた体験型コンテンツの充実により、来場者の満足度を向上させることや、次世代への訴求を図ること。 ○堺のめぐみ ・地域の農産物を地域で消費することで、農空間が持つ多面的機能が維持発揮され、さらに農産物の再生産につながる好循環を生み出すこと。 ・住民が堺産農産物に触れる機会を増加させるため、堺産の表示の推進と販売場所を充実化するなどの取組を推進すること。 ○オーガニックビレッジ ・資源の地域内利用を進めるため、牛ふん堆肥を用いた水稻栽培に取り組む生産者を増加させること。 ・オーガニックビレッジの取組の周知を進め、収穫した米「堺のひかり」の認知度向上と、消費拡大を図るほか、水稻に限らない取組が必要であること。 ○その他 ・「地域計画」策定時のアンケート調査や地域での協議から、農業従事者の高齢化と後継者不足や採算性等の課題が改めて確認されたことから、担い手の育成や農地の利用集積等、堺市農業振興ビジョンで設定した「地産地消の推進」を基軸とする他の取組も含めた横断的な対応が求められる。

取組の内容		○農業祭 ・第 50 回を迎えるに当たり、農業公園ハーベストの丘（開園 25 周年）及び同施設内にあるシルバニアパーク（開園 5 周年）と連携するほか、コンテンツの充実を図る。 ○堺のめぐみ ・本年度は堺市基本計画 2025 の目標年度であることを踏まえ、「堺のめぐみ」の購入者をターゲットとしたキャンペーンの打ち出し等、継続的な購入を促進し、KPI の達成に寄与するようさらなる取組を進める。 ○オーガニックビレッジ ・牛ふん堆肥を活用した栽培手法の普及のため、関係機関と協力し、実証圃場のデータをもとに水稻栽培指針の骨子を作成する。 ・本年産の「堺のひかり」についても、量販店による販売を通じた普及に努めるなど、効果的な PR を行う。	
スケジュール	前期 (～9 月)	□農業祭 : 開催内容の協議調整、準備（4～9 月） 堺市農業祭運営協議会等の開催（8 月） □堺のめぐみ : PR 販売イベントや普及啓発活動の準備、実施（4～9 月） □オーガニックビレッジ : 令和 7 年産試験栽培の圃場管理、栽培開始（4～9 月） ホームページをリニューアルによる市民理解・周知の促進（4～9 月）	
	後期 (～3 月)	□農業祭 : 開催準備（10～11 月） 第 50 回堺市農業祭の開催（11 月） 堺市農業祭運営協議会等の開催（1 月） □堺のめぐみ : PR 販売イベントや普及啓発活動の準備、実施（10～3 月） □オーガニックビレッジ : 試験栽培の圃場管理、収穫（10～11 月） 収穫した米の PR（11～3 月） 栽培指針骨子の検討・作成、次年産準備（11～3 月）	
	次年度以降	□農業祭 : より魅力のある農業祭となるよう関係者と協議し、開催 □堺のめぐみ : 堺市農業振興ビジョンの目標年度であること、新たな堺市基本計画に基づくことを踏まえた取組 □オーガニックビレッジ : 栽培指針骨子の周知による取組農家の拡大、地域内の牛ふん堆肥の利用促進	
進捗の状況	前期 (～9 月)		
	後期 (～3 月)		
堺市基本計画 2025	該当する 施策	4-（7）次世代につなげる農業の促進	
	寄与する KPI	市内で採れた食材を食べていると答えた人の割合（概ね6か月以内）〔現状値：参考値42.8%（2019年度）〕	目標値（2025 年度） 55.0%

(様式 4)

未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号	飢餓をゼロに	
		2		
	寄与する KPI	市内で採れた食材を食べていると答えた人の割合（概ね 6 か月以 内） [現状値：参考値 42.8%（2019 年度）]	目標値（2025 年度）	
			55.0%	